

## 公益社団法人日本補綴歯科学会第123回学術大会 抄録作成方法

プログラム委員会では登録された抄録の校正および修正依頼は一切行いません。

登録者の責任で、校正を済ませたうえで登録していただきますよう、お願いいたします。

規定外の抄録は、不採用となりますので十分にご注意ください。

なお、プログラム委員会で体裁の修正を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 記載内容の項目は以下の通りとする。

#### I. 目的, II. 方法, III. 結果と考察, IV. 文献

- 1) 症例報告に関してのみ項目名の変更を認めるが、原則に準ずる。
- 2) 項目番号はローマ数字を使用し、これ以降の項目立ては「日補綴会誌」投稿の手引きに従う。
- 3) 項目番号と項目名の間は半角1文字あける。

### 2. 抄録原稿用ファイルについて

原稿は学会所定の様式(MS-Word形式)を学術大会のホームページからダウンロードし、作成する。

### 3. 原稿の長さは所定の様式1ページとする。

### 4. 記載内容

- 1) 用紙の上段1/4に、表題(副題を含め40文字以内)、著者名、所属、英文タイトル、英文著者名、英文所属の順に必要な事項を枠の左側に揃え入力する。

(1) 文字の大きさは原則として表題14ポイント、副題12ポイント、著者名・所属9ポイント、英文タイトル・英文著者名・英文所属8ポイントとする。

表題および著者名が一行の場合は、それぞれ上枠に入力する。

(2) 外国人共同著者の所属は、大学名あるいは機関名のみを入力する。

(3) 英文著者名の記載では姓を記し、名はイニシャルにて入力する(例:東京一郎→Tokyo I)。

#### 2) 本文について

(1) 和文の書体にはMS明朝体、句読点は全角ピリオド「。」全角コンマ「,」を用いる。

数字、欧文の書体にはTimes New Roman を用い、全て半角で入力する。

(2) 本文の文字の大きさは、原則として9ポイントとする。 片側22文字×40行の設定で入力する(専門医ケースは片側22文字×16行)。

(3) I～IV項目の間は、1行空ける。

#### 3) 図、表および写真は、原寸で容易に判読できるようにする。

(1) 図、表は本文中に参照箇所を明記する。

(2) 図、表の説明はそれぞれ1つの場合はタイトルのみ(表の説明は上、図の説明は下)とする。

(3) 図、表および写真は、画像ファイルとして所定の様式の範囲内に貼り付ける。

(4) 写真は白黒のみとし、周りに枠をつける。また、コントラストの低いもの、不鮮明なものは不可とする。

5. 登録方法は学術大会ホームページからのオンライン登録に限る。

6. その他, 不明な点は「日補綴会誌」投稿の手引きに従うこと。

---

### 演題カテゴリー

以下のカテゴリーから, 第1希望, 第2希望を選択してください。

課題口演: 臨床効果の評価

課題口演: 口腔機能と全身疾患との関連

課題口演: バイオロジー

課題口演: トランスレーショナルリサーチ, 臨床イノベーション

一般口演: 有床義歯

一般口演: クラウンブリッジ

一般口演: インプラント

一般口演: ニューロサイエンス

一般口演: バイオマテリアル

一般口演: 口腔機能

一般口演: 症例

一般口演: 教育

ポスター発表: 有床義歯

ポスター発表: クラウンブリッジ

ポスター発表: インプラント

ポスター発表: ニューロサイエンス

ポスター発表: バイオマテリアル

ポスター発表: 口腔機能

ポスター発表: 症例

ポスター発表: 教育

専門医ケースプレゼンテーション